



津山工業高等専門学校校報

第 1 7 2 号

令和 8 年 9 月 1 4 日発行

(令和 8 年 4 月 1 日～令和 8 年 7 月 3 1 日)

目 次

校内諸規則

◎津山工業高等専門学校事務組織規程の一部改正	2
◎津山工業高等専門学校事務分掌規程の一部改正	2
◎津山工業高等専門学校公用車管理運用規程の一部改正	3
◎津山工業高等専門学校における会計機関の補助者等に関する規程の一部改正	3
◎津山工業高等専門学校基金規程の一部改正	3
◎津山工業高等専門学校海外語学研修実施規程の一部改正	3
◎津山工業高等専門学校安全保障輸出管理に関する規程の一部改正	3
◎津山工業高等専門学校学生準則の一部改正	3

人事異動	4
主要日誌	8

諸 報

○着任式	10
○新任教員研修	10
○寮生集会	10
○入学式	10
○入寮式, 新入寮生と寮上級生との対面式	11
○寮生総会, 寮生会役員認証式	11
○令和 8 年度選択科目「国際交流 I」ガイダンス	11
○専攻科入試説明会	11
○新入寮生防火避難訓練	11
○令和 8 年度海外研修説明会	11
○リーダー研修会	11
○津山市ワーク・ライフ・バランス推進企業に認定	12
○寮生寺子屋	12
○第73回美作地区高校総体	12
○学生総会	12
○春季校内スポーツ大会	12
○暁祭	12
○学生募集(専攻科推薦入試)	12
○津山高専技術交流プラザ総会	13
○After School English (5/22)	13
○第20回包括連携協定代表者会議	13
○FD研修会	13
○生活・交通安全講習	13
○救急処置実技講習会	14
○北辰寮防火避難訓練	14
○知的財産セミナー(機械システム系 5 年生を対象)	14

○「トビタテ！留学JAPAN」校内説明会	14
○学生募集（専攻科学力入試）	14
○タイ・プリンセスチュラポーンサイエンスハイスクールブリラム校の校長・教員と 学生の本校訪問	15
○1年生校外教育	15
○校外教育・工場見学	15
○エフエムつやまのラジオ番組制作に協力	16
○第1回先端技術特別講義	16
○学生アンバサダー第1回全体会議	16
○令和8年度海外研修キックオフミーティング	16
○After School English (6/26)	17
○第62回中国地区高等専門学校体育大会	17
○第2回先端技術特別講義	18
○学生アンバサダー主催の七夕イベント	18
○寮生レクリエーション大会	18
○「津山高専技術交流プラザ」会員企業見学バスツアー	18
○呉高専主催のアジアDAY	19
○令和8年度中国地区高等専門学校執行長会議	19
○English Cafe (7/13)	19
○知的財産セミナー（専攻科生を対象）	19
○After School English (7/17)	19
○ごうぎんSDGs私募債による寄贈品贈呈式	20
○科学研究費	20
○受託事業	23
○受託研究	23
○共同研究	23
○寄附金	25
○補助金	26

校内諸規則

◎ 津山工業高等専門学校事務組織規程の一部改正

- 1 制定・改正番号 規程第7号
- 2 規程・内規の名称 津山工業高等専門学校事務組織規程
- 3 制定・改正年月日 令和8年6月18日
- 4 制定・改正者 津山工業高等専門学校長 佐藤貴哉
- 5 制定・改正理由 事務組織改編のため。

◎ 津山工業高等専門学校事務分掌規程の一部改正

- 1 制定・改正番号 規程第8号
- 2 規程・内規の名称 津山工業高等専門学校事務分掌規程
- 3 制定・改正年月日 令和8年6月18日
- 4 制定・改正者 津山工業高等専門学校長 佐藤貴哉
- 5 制定・改正理由 事務組織改編のため。

◎ 津山工業高等専門学校公用車管理運用規程の一部改正

- 1 制定・改正番号 規程第9号
- 2 規程・内規の名称 津山工業高等専門学校公用車管理運用規程
- 3 制定・改正年月日 令和8年6月18日
- 4 制定・改正者 津山工業高等専門学校長 佐藤貴哉
- 5 制定・改正理由 公用車への学生同乗を禁止したため。

◎ 津山工業高等専門学校における会計機関の補助者等に関する規程の一部改正

- 1 制定・改正番号 規程第10号
- 2 規程・内規の名称 津山工業高等専門学校における会計機関の補助者等に関する規程
- 3 制定・改正年月日 令和8年7月1日
- 4 制定・改正者 津山工業高等専門学校長 佐藤貴哉
- 5 制定・改正理由 組織変更に伴う名称変更

◎ 津山工業高等専門学校基金規程の一部改正

- 1 制定・改正番号 規程第11号
- 2 規程・内規の名称 津山工業高等専門学校基金規程
- 3 制定・改正年月日 令和8年7月1日
- 4 制定・改正者 津山工業高等専門学校長 佐藤貴哉
- 5 制定・改正理由 組織変更に伴う名称変更

◎ 津山工業高等専門学校海外語学研修実施規程の一部改正

- 1 制定・改正番号 規程第12号
- 2 規程・内規の名称 津山工業高等専門学校海外語学研修実施規程
- 3 制定・改正年月日 令和8年7月1日
- 4 制定・改正者 津山工業高等専門学校長 佐藤貴哉
- 5 制定・改正理由 組織変更に伴う名称変更

◎ 津山工業高等専門学校安全保障輸出管理に関する規程の一部改正

- 1 制定・改正番号 規程第13号
- 2 規程・内規の名称 津山工業高等専門学校安全保障輸出管理に関する規程
- 3 制定・改正年月日 令和8年7月1日
- 4 制定・改正者 津山工業高等専門学校長 佐藤貴哉
- 5 制定・改正理由 組織変更に伴う名称変更

◎ 津山工業高等専門学校学生準則の一部改正

- 1 制定・改正番号 規則第1号
- 2 規程・内規の名称 津山工業高等専門学校学生準則
- 3 制定・改正年月日 令和8年7月15日
- 4 制定・改正者 津山工業高等専門学校長 佐藤貴哉
- 5 制定・改正理由 校外活動における学生の安全確保の確認に伴う「許可願」の見直しのため。

人事異動

校内のみ

校内のみ

校内のみ

校内のみ

校内のみ

主要日誌

4月	1日	着任式，専攻科運営委員会，開寮，寮務委員会
	1日～2日	新任教員研修
	2日	教務委員会，留学生・編入生オリエンテーション，学生生活委員会，寮生集会
	3日	入学式，新入生オリエンテーション，保護者懇談会，専攻科説明会， 専攻科2年生オリエンテーション，専攻科学位申請説明会， 入寮式，北辰寮後援会定期総会，新入寮生と寮上級生との対面式
	3～10日	専攻科運営委員会（電子会議）
	6日	始業式・オリエンテーション，1年生課題テスト， 専攻科新入生オリエンテーション，総合支援センター運営委員会， 寮生総会，寮生会役員認証式
	7日	教員会議，企画会議， 新入生歓迎会，授業開始，専攻科特別研究指導教員説明会
	8日	国際交流センター運営委員会，情報セキュリティ推進委員会
	13～27日	専攻科運営委員会（電子会議）
	13日～6月19日	健康診断
	14日	安全衛生委員会，教務委員会，専攻科入試説明会，学生生活委員会， 新入寮生防火避難訓練

	18日	リーダー研修会
	20日	企画会議
	21日	運営会議
	22日	情報セキュリティ推進委員会
	22日～24日	臨時学生生活委員会（電子会議）
	23日	寮務委員会
	29日	広報委員会，授業参観日
	29日～5月7日	企画会議（メール会議）
5月	2日	閉寮
	6日	開寮
	7日～12日	学生総会
	8日	プロコン校内審査会
	9日～10日	美作地区高校総体
	12日	教務委員会，学生生活委員会
	13日	ロボコン校内審査会，情報セキュリティ推進委員会
	14日	臨時企画会議，春季校内スポーツ大会，寮務委員会
	16日	暁祭
	18日	専攻科推薦入試
	18日～22日	授業公開週間
	19日	運営会議，教員会議，専攻科（拡大）運営委員会，専攻科運営委員会
	19日～26日	安全衛生委員会（メール会議）
	20日	臨時運営会議，入学試験委員会
	20日～21日	臨時学生生活委員会（電子会議）
	21日	専攻科推薦入試合格発表
	22日～27日	専攻科運営委員会（電子会議）
	25日	企画会議
	26日	環境委員会
	27日	高専フェスin岡山，図書館運営委員会，情報セキュリティ推進委員会
	28日	学校運営評価委員会
	28日～6月14日	第65回岡山県高校総体
6月	1日	研究推進委員会
	2日～8日	前期中間試験
	3日	生命倫理委員会
	5日	総合情報センター運営委員会
	8日	F D研修会，企画会議
	9日	教務委員会，学生生活委員会，救急処置実技講習会，北辰寮防火避難訓練
	10日	情報セキュリティ推進委員会
	15日	専攻科学力入試
	16日	運営会議，専攻科（拡大）運営委員会
	16日～23日	安全衛生委員会（メール会議）
	18日	1年生校外教育，2年生工場見学（2－S，2－E）， 4年生工場見学（4－M，4－E，4－C），入学試験委員会
	18日～23日	臨時運営会議
	19日	専攻科学力入試合格発表，専攻科運営委員会， 中国地区高専体育大会参加説明会
	22日～25日	組換えDNA実験安全管理委員会（メール会議）
	23日～26日	研究推進委員会（メール会議）
	24日	情報セキュリティ推進委員会
	25日	2年生工場見学（2－M），寮務委員会
	25日～29日	教育システム点検委員会（メール会議）
	27日	津山高専EXPO' 26
	27日～28日	第62回中国地区高専体育大会（バスケットボール競技）

28日	第62回中国地区高専体育大会（水泳競技）
7月 1日～3日	地域共同テクノセンター運営委員会（メール会議）
2日	施設整備検討委員会
3日～5日	第62回中国地区高専体育大会
6日	企画会議
7日	教務委員会，学生生活委員会
7日～9日	寮生レクリエーション大会
8日	情報セキュリティ推進委員会
9日	2年生工場見学（2-C），4年生工場見学（4-S），寮務委員会， 中学校との意見交換会
11日～12日	中国地区高専執行長会議（広島商船高専）， 第62回中国地区高専体育大会（バドミントン競技）
14日	運営会議，教員会議
17日	専攻科運営委員会
7月17日～24日	国際交流センター運営委員会（電子会議）
21日	企画会議，安全衛生委員会
27日～31日	本科・専攻科前期末試験
28日	臨時教員会議，臨時学生生活委員会
29日	臨時学生生活委員会
30日	広報委員会
31日	寮一斉清掃

諸 報

○着任式

4月1日（水）に，新任教職員の着任式を執り行った。

着任式では，本校に着任された5名の教職員についてそれぞれ紹介があった後，各人からの挨拶があった。

○新任教員研修

4月1日（水）・2日（木）に，令和8年度新任教職員を対象に，教職員としての心構えを自覚するとともに，本校の主な組織や業務の概要等について学ぶことを目的として，本校主催の新任教職員研修を開催した。

研修は，4月1日（水）に事務部（契約係，財務係，総務係）・技術部から職務内容や各種手続きについて説明が行われ，教務主事，寮務主事からは各種業務についての講義が行われた。4月2日（木）には安全衛生についての講義や学生生活についての説明が行われた。

○寮生集会

4月2日（木）に，寮生集会が行われた。

まず，寮務主事から寮生へ今年度の寮生活におけるさまざまな留意事項が周知された。

その後，寮務委員の先生から挨拶と担当する寮生会の委員会について説明があった。

○入学式

4月3日（金）に入学式を挙行し，166名の本科新生，5名の編入生（3年に編入する留学生），18名の専攻科新生が入学許可された。

和田津山市副市長からご祝辞があり，佐藤校長から，「本科新生の皆さんの，15歳という早い段階で工学を志したその決断に，深く敬意を表します。皆さんが社会の課題を技術とアイデアで解決し，世界中の人々を幸せにできる人材となるよう，今日から共に歩んでいきましょう。専攻科入学生の皆さんは，本校で培った基礎の上にさらなる専門性を積み上げ，技術の高みを目指して探究を深めてください。自分自身を信じ，自身の将来を夢見てください。失敗を恐れずに挑戦してください。これこそが本校の開拓精神の核心です。試行錯誤を繰り返し，真の技術者へと成長することを期待しています。」と式辞があった。

そして、本科新入生と専攻科新入生の代表者がそれぞれ宣誓を行い、これからの努力を誓った。この日は、後援会総会、クラス別保護者懇談会、入寮式、北辰寮後援会総会と沢山の行事が行われた。

○入寮式、新入寮生と寮上級生との対面式

4月3日（金）に、入寮式及び新入寮生と寮上級生との対面式を行った。

入寮式では、これから北辰寮の寮生として生活をする新入生と保護者へ寮務委員会と寮生会、寮務係職員の紹介を行い、今後の寮生活の説明などが行われた。

同日に、新入寮生と寮上級生との対面式として、男子学生は多目的ホール、女子学生はラーニングスペースで新入生の自己紹介等を行った。

○寮生総会、寮生会役員認証式

4月6日（月）に、寮生総会及び寮生会役員認証式を行った。

最初に行われた寮生総会では、寮生会会計から昨年度の決算と今年度の予算について説明があり、承認された。

また、今年度、各委員を務める委員長から自己紹介と担当している委員会業務についての説明があった。

引き続き行われた寮生会役員認証式では、寮務主事から指導寮生に認証書が手渡され、激励された。

○令和8年度選択科目「国際交流Ⅰ」ガイダンス

4月10日（金）に、令和8年度の選択科目「国際交流Ⅰ」の学生向けガイダンスを実施した。

本科目は学生が主体的に本校における国際交流活動に参加し、その実績に応じて単位を認定する科目である。

国際交流センター長からシラバスに記載された内容等をもとに科目の概要、本科目に含まれる学内・学外行事について具体的な説明を行った。

また、学内行事に含まれる学生アンバサダー活動について、令和8年度の学生アンバサダーリーダーから発表が行われ、その後は履修方法に関する事務的な説明を実施した。

本ガイダンスには、低学年を中心に履修を検討している学生75名が参加し、科目への理解を深めた。

○専攻科入試説明会

4月14日（火）に4、5年生を対象に専攻科入試説明会が開催され、専攻科修了生による講演が行われた。

現在の仕事内容や専攻科を目指す学生への心構えなどを講演していただき、参加者は進路を考えるうえでの参考となった。

講演者 旭化成株式会社 井田良輔 氏

○新入寮生防火避難訓練

4月14日（火）に、津山圏域消防組合より講師を迎え、新入寮生防火避難訓練を実施した。

新入寮生は、水消火器を実際に扱って初期消火の方法を体験した。

また、講師の方より火事に普段から備えることの重要性などを説明いただき、新入寮生は今後の寮生活での安全への意識を高めていた。

○令和8年度海外研修説明会

4月17日（金）に、令和8年度海外研修説明会を実施した。

令和8年度に行われる国際交流プログラム（国内）及び海外研修プログラムの研修内容や魅力等について、それぞれの担当教員から説明が行われた。

令和8年度に海外研修を検討している学生109名が参加し、海外研修に関する説明を聞いた。

説明会後には、国際交流センター長から令和8年度海外研修の意向を確認するアンケートを行うなど、研修の実施について準備を行っている。

○リーダー研修会

4月18日（土）に、リーダー研修会が開催された。

この会は、課外活動などで指導的立場にある学生が集まり、毎年開催されているもので、当日は学生会役員や運動局・文化局の部長・同好会長が学生会運営・今年度予算などについて活発に議論した。

○津山市ワーク・ライフ・バランス推進企業に認定

津山市では、「仕事」と「仕事以外の生活」の両立を支援し、教職員（従業員）が働き続けやすく、男女がともに働きやすい職場環境づくりを実現するために積極的に取り組んでいる企業を「津山市ワーク・ライフ・バランス推進企業」として認定し、その取り組み事例を広く紹介することにより、企業におけるワーク・ライフ・バランスの推進を応援している。

このたび、第 11 回目として 20 事業者が認定され、津山高専は前回に引き続きその一つに選ばれた。（今回で 4 回目の認定となる。）

認定期間は、令和 8 年 4 月 1 日から令和 11 年 3 月 31 日までの 3 年間であり、引き続き職場環境改善に努めていくこととした。

○寮生寺子屋

4 月 21 日（火）より 1 年寮生全員を対象とした寮生寺子屋が始まった。

本取り組みは、4 年生以上の学生が 1 年生を対象に教えるというもので、平成 23 年度に開始された。

寮内寺子屋は試験期間中及び試験一週間前を除く火・水・木曜日の週 3 回、21 時～22 時の一斉学習時間に実施されており、1 年生にとって学習の大きな手助けとなると共に、教えられる側だけでなく、教える側にも理解の再確認になっている。

寮生は、真面目に取り組みながらも和気あいあいとした雰囲気勉強を頑張っている。

○第 73 回美作地区高校総体

5 月 9 日（土）・10 日（日）に第 73 回美作地区高等学校総合体育大会が開催され、各運動局に所属する 3 年生以下の学生が様々な競技に参加した。

主な成績（第 3 位以上の団体）は次のとおり。

優 勝 ハンドボール（男子）、卓球（男子）、登山（男子、女子）、ラグビーフットボール

第 2 位 硬式野球

第 3 位 バレーボール（男子）、バスケットボール（男子）、卓球（女子）

○学生総会

5 月 12 日（火）に、学生総会が放送形式で開催された。

この総会は、学生会が中心となって開催するもので、当日は前年度決算及び今年度予算の承認、年間事業計画の承認を問うインターネット投票が行われた。

○春季校内スポーツ大会

5 月 14 日（木）に、令和 8 年度春季校内スポーツ大会が開催された。

今回実施された競技種目は、サッカー・バレーボール・王様ドッジボール・系対抗リレーの 4 種目で、各クラスが優勝目指して全力を発揮した。

○晩祭

5 月 16 日（土）に、晩祭が開催された。

晩祭では、9 グループによる演目が披露され、練習した成果を遺憾なく発揮し、大盛況となった。

その後、執り行われたビンゴ大会も和気あいあいとした雰囲気で行われ、寮生同士で協力しひとつのことを成し遂げた一体感を感じることができた。

寮生にとって今回の経験は、これからの寮生活を送る中でとても良い経験となったと思われる。

夕食はバイキング形式で、寮生から意見を募ったメニューでお腹いっぱいになるまで楽しんでいた。

○学生募集（専攻科推薦入試）

5 月 18 日（月）本校において、令和 9 年度専攻科推薦入学者選抜試験を実施し、5 月 21 日（木）に合格者を発表した。志願・合格状況は次のとおりである。

志願者 22 名

（機械・制御システム工学専攻 7 名、電子・情報システム工学専攻 15 名）

合格者 14 名

（機械・制御システム工学専攻 6 名、電子・情報システム工学専攻 8 名）

○津山高専技術交流プラザ総会

5月19日（火）に鶴山ホテルにおいて、津山高専技術交流プラザ総会が開催された。

本校教職員及び津山高専技術交流プラザ会員企業、津山市等から85名が参加した。

総会では、津山高専技術交流プラザ生駒会長の挨拶に続き、令和7年度の事業報告・決算報告、さらに令和8年度の事業計画及び予算案について審議が行われた。

議案に続き、新入会員企業のご挨拶、本校新任教員の西山智也助教、花田七星講師による挨拶と研究内容紹介、守友博紀准教授による、最新の研究動向を踏まえた紹介が行われ、内容は一層充実したものとなった。

総会後の情報交換会では、活発な意見交換が行われ、終始和やかな雰囲気の中で盛況のうちに終了した。

○After School English (5/22)

5月22日（金）に、After School Englishを開催した。

After School Englishは、本校の学生アンバサダーが企画・運営を行っている国際交流イベントの一つで、今回が今年度初めての開催となった。

当日は、学生アンバサダーが自分達で作成したスライドを使用し、司会とゲームの補助を務め、グループに分かれて、「イエスノーゲーム」を英語で行った。

質問に対してイエスかノーで答え、それを繰り返すことで、お題を当てるゲームである。単語や質問が思い浮かばないと悩む学生も多くいたが、グループ内でフォローしあい楽しくゲームを進めていた。

○第20回包括連携協定代表者会議

津山高専が「包括連携協定」を締結している津山市と美作大学との代表者会議が6月5日（金）に、美作大学にて開催された。

「包括連携協定」は、三者間で平成20年度に締結し、様々な分野において相互に協力し、地域社会の発展や人材育成などに連携して取り組むこととしており、今回が20回目の代表者会議となった。

会議には、佐藤校長をはじめ、光井津山市長、桐生美作大学長などの関係者が出席した。

令和7年度の事業取組内容について総括が行われた後、令和8年度の事業活動方針について協議が行われた。

また、人口減少や少子化が進む津山市において、地域の活力を高めるための方策について活発な議論が交わされ、一層の連携強化に向けた意見交換も行われた。

○FD研修会

6月8日（月）に、令和8年度第1回FD研修会を開催した。

今回は、「津山高専における課題と情報共有①」をテーマとし、「機関別認証評価について」、「宿日直業務アンケート集計報告とGW閉寮時の学生の動向についての報告」、「入試に関する現状の報告」の3つの発表があった。質疑応答では活発な意見交換が交わされ、今後のそれぞれの業務のあり方を考えていく上で有意義な時間となった。

○発表内容及び講演者

- 1 機関別認証評価について
佐伯教育システム点検委員会委員長
- 2 宿日直業務アンケートの集計報告とGW閉寮時の学生の動向についての報告
菊地寮務主事
- 3 入試に関する現状の報告
塩田教務主事

○生活・交通安全講習

6月8日（月）に、津山警察署より講師をお招きし、今年度入学した留学生に向けて生活・交通安全講習を行った。

講習では、日本の生活・交通事情や特有のルール、事故を起こしてしまった際の対応や通報のやり方についての説明など、様々なことを教えていただいた。

その後、交代で自転車シミュレーターを用いて自転車の運転をしながら交通ルールについて学び、自転車を運転する際に自身と周りにどのような危険が潜んでいるかしっかりと認識した。

○救急処置実技講習会

6月9日（火）に、今年度入寮した寮生と運動部・文化部の代表学生を対象として、救急処置実技講習会を実施した。

本行事では、津山圏域消防組合の協力のもと、けが人や意識不明者に遭遇した際にどういった行動をするべきか説明を受け、感染症の危険性を考慮した心臓マッサージの方法について学んだ。

その後、模擬的にAEDを使用する実技訓練を行った。

○北辰寮防火避難訓練

6月9日（火）に、北辰寮防火避難訓練を実施した。

夜間に寮内で出火したという状況を想定し、4寮前で発炎筒を焚き、寮生の避難を行った。

その後、想定される避難先の第二体育館にて、寮務主事及び寮生会防災委員会より、訓練状況の総評及び今後の課題等について指導された。

○知的財産セミナー（機械システム系5年生を対象）

6月9日（火）に、日本弁理士会の支援により、機械システム系5年の学生を対象にした知的財産セミナーを船曳特許事務所の船曳崇章先生をお招きして開催した。

講義では、知的財産について具体例を交えながら説明があり、学生たちは分かりやすく学ぶことができた。

後半では、学生同士がグループを作り、演習課題に対してさまざまなアプローチから「どのような発明が特許になるのか」について議論し、理由を添えて論理的に発表した。

学生たちの専門分野に関連する内容であったため、興味を持って話を聞き、理解をより深めることができた。

○「トビタテ！留学JAPAN」校内説明会

6月12日（金）に、「トビタテ！留学JAPAN」校内説明会を開催した。

「トビタテ！留学JAPAN」は、学生自身が自由に留学内容、渡航先、期間を設計し、全国の多数の応募者の中から選抜された学生が官民協働オールジャパンの支援を受けて海外へ留学するプログラムである。

本校からも、毎年学生が自身の興味関心にそった独自の留学計画を立てて申請し、採択され、留学している。今回の説明会には、国際交流に興味のある学生や実際に「トビタテ！留学JAPAN」に応募したいという学生94名が参加した。

説明会では、まず「トビタテ！留学JAPAN」とはどのようなプログラムか、これまで本校からはどのような留学プログラムが採択されたのか、申請スケジュールなどについて説明を行った。

その後、昨年度、「健康で長生きする秘訣」を探るため、世界5大長寿エリア”ブルーゾーン”の一つであるイタリア・サルデーニャ島に留学した情報システム系4年の学生が申請の動機や留学中の体験、帰国後の活動内容について詳しく話をしてくれた。

また、海外渡航経験が豊富な先進科学系の教員から海外体験を有意義にするポイントについて実例を挙げながら5つ紹介いただいた。

実際に留学プログラムが採択された先輩の生き生きとした体験談や教員による海外での実体験を聴き、参加学生たちは大いに刺激を受けていた。その後の質疑応答では活発な意見交換が行われ、充実したひとときとなった。

○学生募集（専攻科学力入試）

6月15日（月）本校において、令和9年度専攻科学力入学者選抜試験を実施し、6月19日（金）に合格者を発表した。志願・合格状況は次のとおりである。

志願者20名

（機械・制御システム工学専攻7名、電子・情報システム工学専攻13名）

合格者10名

（機械・制御システム工学専攻3名、電子・情報システム工学専攻7名）

○タイ・プリンセスチュラポーンサイエンスハイスクールプリラム校の校長・教員と学生が来校

6月16日（火）～18日（木）の日程で、本校と学術交流協定を締結しているタイ・プリンセスチュラポーンサイエンスハイスクールプリラム校（以下PCSHSプリラム校）から、サックアナン・アナンタスック校長を含む教員4名及び学生4名の計8名が本校に来校した。

PCSHSプリラム校の教員・学生は、15日（月）にタイを出発し、16日（火）に日本到着した。

訪問初日の16日（火）には、岡山空港から本校教職員の送迎にて来校し、校長挨拶、情報交換が行われた。

17日（水）には、授業見学として「機械システム工学実験」、「化学」、「一般生物学」の見学と参加をし、実験を通して日本人学生との交流が行われた。

同日午後には、PCSHSプリラム校の学生による研究発表会として、「洪水感知：洪水予測・警報システム」、「教育用ゲーム開発：ゲームロボが地球を救う」という2つのテーマについて発表が行われ、本校学生60名が参加し、発表内容について積極的な質問が行われた。

18日（木）には学外での行事として、津山市内の史跡等見学として衆楽園・鶴山公園の見学と津山市長への表敬訪問が行われた。

表敬訪問では、本校のタイ出身留学生により随時通訳が行われ、津山市の印象や歴史、タイ・プリラムの雰囲気やPCSHSプリラム校での行事などについて情報交換が行われた。

市内見学・表敬訪問後、本校にてPCSHSプリラム校ICT教員による模擬授業として、プログラミング言語Pythonの基礎演習が英語で行われ、本校学生と教職員が参加した。

19日（金）に、PCSHSプリラム校の教員・学生は岡山空港を出発し、その後東京での実地見学を経てタイへ帰国した。

○1年生校外教育

6月18日（木）グリーンヒルズリージョンセンターにおいて、1年生を対象に「新入生モノづくり課題コンテスト優秀者によるプレゼンテーション」及び「新聞紙タワーコンテスト」が行われた。

○校外教育・工場見学

2年生及び4年生を対象に、勉学に対する意識や仕事に対する理解を養うことを目的として、校外教育・工場見学を実施した。各クラスの日付・会場・見学先は次のとおり。

（2年生）

先進科学系	6月18日（木）国立研究開発法人理化学研究所放射光科学研究センター （Spring-8）、キッコーマン食品株式会社 高砂工場
機械システム系	6月25日（木）三菱電機モビリティ株式会社 姫路事業所千代田工場
電気電子システム系	6月18日（木）ENEOS株式会社 水島製油所、 JFEスチール株式会社 西日本製鉄所
情報システム系	7月9日（木）新明和ソフトテクノロジー株式会社

（4年生）

先進科学系	7月9日（木）三菱ケミカル株式会社 岡山事業所、 岡山大学 理学部
機械システム系	6月18日（木）神鋼テクノ株式会社、 シスメックス株式会社 アイスクエア
電気電子システム系	6月18日（木）関西電力株式会社 姫路第一発電所、 国立研究開発法人理化学研究所放射光科学研究センター （Spring-8）
情報システム系	6月18日（木）さくらインターネット株式会社

○エフエムつやまのラジオ番組制作に協力

今春より、津山市のコミュニティ FM 放送局「エフエムつやま」の中学高校向けラジオ番組制作に協力しており、6月19日（金）をもって、放送は通算55回を迎えた。

本番組は、「昼ラジ! 地元と未来をつなぐ10分」として、中高生が地域の魅力を発信するラジオ番組であり、津山高専だけではなく、地域の中学高校も協力している。

番組内容は、学生がアナウンサーやインタビュアーとして出演し、地域の話、学校のPR、津山市内のイベント情報や地元の企業情報などの紹介を行う。

また、高校や高専の校長インタビュー、番組スポンサー企業へのインタビュー、美作地域の偉人など、地域に根差した話題を提供しており、津山市内の中学校、高校、高専の昼休みに校内放送として番組が流されている。

今後も地元で活動する団体や地元に関係のある話題や季節の話題、地域イベントの紹介などを行っていく。

○第1回先端技術特別講義

6月22日（月）に、専攻科の第1回先端技術特別講義が実施された。

九州工業大学大学院生命体工学研究科人間知能システム工学専攻の古川徹生先生に講師としてお越しいただき、「AIと人間は《わかりあう》ことができるか」をテーマとして講演があった。

講演では、様々な例を取り上げて、人間の「わかる」は、脳内モデルを用いて予測・認識し、経験によってモデルを更新し続ける認知活動であり、AIの「わかる」は、学習データから獲得した統計的なパターンを用いて最適な出力を予測する情報処理であるなど、人間とAIを比較しながらお話をいただいた。

質疑応答では、多くの学生から活発な質問があり、先生と意見交換する場面もあった。

さらに、九州工業大学大学院生命体工学研究科の説明や九州工業大学での教育・研究活動の紹介、今後の進路選択において心掛けておくべきことについて説明があった。

○学生アンバサダー第1回全体会議

6月23日（火）に、学生アンバサダーによる第1回全体会議を開催した。

学生アンバサダーは、留学生との交流や国際理解の促進を目的として、学生主体でさまざまな国際交流活動に取り組む組織である。現在は4つのグループに分かれ、それぞれが特色ある企画やイベントの運営に携わっている。また、海外から学生や教員が来校する際には、滞在中のサポートや交流プログラムの実施などを行っている。

今回の会議では、学生代表が司会進行を務め、各グループリーダーから活動概要及び今年度の活動計画について発表が行われた。続いて、グループごとに分かれて今後の具体的な活動内容について話し合いを行い、活発な意見交換が交わされた。どのグループでも前向きな議論が展開され、今後の活動への意欲の高まりが感じられた。

今回の会議には、70名を超える学生が参加した。多くの新メンバーを迎え、より多様な視点を生かした活動が期待される。

○令和8年度海外研修キックオフミーティング

今年度海外研修に参加する学生を対象として、6月24日（水）に令和8年度海外研修キックオフミーティングを開催した。

最初に佐藤校長から「日本と海外の違いを見つけ、発信力を磨き、しなやかな適応力を身に付けて帰ってきてほしい」、「海外では、危機予知能力が重要になってくるため、しっかりと気を引き締めて頑張ってきてほしい」と学生たちに向けて激励の挨拶があった。

佐藤校長からの激励を受け、それぞれの研修の代表者が決意表明を行った。

カナダホームステイプログラムへ参加する電気電子システム系3年学生は「実用的な英語を学び、自身の勉強や就職活動に役立てていきたい」、「異文化交流を経験し、自身の視野を広げたい」と語った。

海外インターンシップとしてIKOMAロボテックのインドネシア工場に行く電気電子システム系4年学生は、「何事にも積極的に挑戦し、多くのことを学んで帰ってきてほしい」と語った。

海外工場見学として内山工業のベトナム工場に行く先進科学系2年学生は、「研修中は積極的に質問をし、研修後の課題を見つけて帰ってきてほしい」と語った。

トビタテ！留学JAPANでアイルランドに留学する先進科学系2年学生は、「アイリッシュ音楽文化の魅力を探究し、留学後は研修の経験を多くの人に伝えていきたい」、「将来、国際的に活躍できるような人材になりたい」と語った。

また、トビタテ！留学JAPANでアメリカ合衆国に行く機械システム系2年学生は、「教科書ではわからない国際チームの協働の仕方等を知りたい。研修中は研究者に積極的に質問し、施設見学で得た気づきを記録することで、学びを整理し、探究を深め、夢に向かって前進していく」と語った。

決意表明の後は、国際交流に関わる危機管理対策部会長による危機管理講習が行われ、「外務省のホームページなどで自ら渡航先の情報を入手しておくこと」、「特にトラブルに遭遇しやすい病気・盗難などのケースを想定し、対応方法をイメージしておいてください」と話があった。

また、閉会にあたり、香取国際交流センター長から、「皆さんの研修をより充実した研修にするために、語学力を含め事前準備にしっかりと取り組み臨んでほしい」と激励の挨拶があった。

○After School English (6/26)

6月26日（金）に、学生アンバサダーのAfter School Englishグループ主催で「After School English」を開催した。

今回は、岡山大学から2名の留學生が参加した。何度か参加してくれている留學生だったため、会はスムーズに進行した。本校の学生たちにとっては実際に英語でコミュニケーションをとる貴重な機会となった。

イベントでは、「Word Wolf（ワードウルフ）」という、参加者の中に「1人だけ異なるお題を持っている人（＝ウルフ）」がいるゲームを行った。

司会はベテランの5年生が務め、お題の面白さもあって大変盛り上がった。お題を考えることも司会の大切な役割であり、アンバサダー活動は、参加者全員が楽しめる内容を考えるよい機会となっている。

○第62回中国地区高等専門学校体育大会

第62回中国地区高等専門学校体育大会が7月3日（金）～5日（日）（水泳競技は6月28日、バスケットボール競技は6月27日・28日、バドミントン競技は7月11日・12日）に開催され、本校の学生が参加し健闘・活躍した。

大会の結果（第3位以上の団体・個人）は次のとおり【○印は全国大会出場】。

陸上競技

（男子）

400m	優 勝	○横内倖大（5－S）
男子走幅跳	第2位	○細井琥右（2－C）
4x100mR	第2位	○眞木 隼（1－2），須田悠紀（4－S），細井琥右（2－C），横内倖大（5－S）
4x400mR	優 勝	○須田悠紀（4－S），半田聖真（4－M），平田開都（3－M），横内倖大（5－S）

柔道競技

（男子）

団体（5人制）	第2位	
無差別級	第2位	○森下優士（4－C）
個人81kg級	第3位	柿元遥輝（4－E）
個人73kg級	第3位	藤井快成（5－S）

（女子）

個人63kg級	優 勝	○根本菜羽（4－E）
個人52kg級	第3位	○今村楓花（2－E）

バドミントン

(男子)

団体 第3位

ダブルス 第3位 河田拳志郎（5－E），岩藤悠真（2－E）

(女子)

ダブルス 第2位 ○平松瑞希（2－E），姫野かさね（1－1）

卓球

(男子)

団体 第3位

ダブルス 第3位 橋本陽翔（5－M），池田龍之介（3－M）

バスケットボール

(男子)

第2位

○第2回先端技術特別講義

7月6日（火）に，専攻科の第2回先端技術特別会議がボランティアレクチャーとして実施された。

アスクラボ株式会社の代表取締役社長の川嶋慎太郎氏に講師としてお越しいただき，「実際に生成AIを業務でどう使ってる？ IT企業のRAG活用と，現場のリアルな光と影」をテーマとして講演があった。

実際に会社内で利用している生成AIの例として，これまでに顧客との面談で蓄積された日報の活用例の紹介があった。生成AIを利用することになった経緯から，生成AIを利用する上での課題点，可能性の高いお客様に優先的にアプローチする仕組みをどのように組み込むかなど，実際の仕事の現場における活用方法について学ぶことができた。

また，システム開発において生成AIを利用することで開発効率は向上しているが，やはり最後は人が確認・判断することが必要であることについても説明があった。

○学生アンバサダー主催の七夕イベント

7月7日（火）に，学生アンバサダー主催の七夕イベントを開催した。

学生アンバサダーのイベントグループの学生による英語を使った司会進行のもと，実習工場共同利用スペースにて，うちわ作り，笹舟作り，短冊の飾り付けを行った。

今回のイベントには，学生アンバサダーを含め，英語学習や国際交流に興味のある41名の学生が参加した。

○寮生レクリエーション大会

7月7日（火）～9日（木）に，寮生レクリエーション大会が開催された。

今回はバレーボール競技が行われ，各寮棟のフロアごとに寮生でチームを組み，トーナメント戦を実施した。

寮生同士白熱した試合が繰り広げられ，数多くの声援が飛び交った。

また，寮生同士絆を深め，今後の寮や学校での生活を充実したものにしてくれるものと思われる。

○「津山高専技術交流プラザ」会員企業見学バスツアー

津山高専の学生に地元企業を知ってもらうことを目的として，津山高専技術交流プラザが主催する「津山高専技術交流プラザ」会員企業見学バスツアーが7月8日（水）に開催された。

今回見学させていただいた企業は，「株式会社椿本チエイン岡山工場（津山市新野東）」，「株式会社ワードシステム（津山市鍛冶町）」の2社で，学生・教職員約40名が2つのバスに分かれて見学した。

株式会社椿本チエインの岡山工場では，クラッチや軸継手・締結具などを中心製造しており，各種製品の設計・検証実験を行う部屋，実際に製品製造を行う工程など設計から製造・出荷までの一連の工程について説明があった。

また，高専卒の先輩社員から入社動機や実際の会社生活についての説明があった。学生たちは興味深

く耳を傾け、自分たちの学びが実社会でどのように生かされるのかを理解する良い機会になった。

株式会社ワードシステム（津山市鍛冶町）では、会社紹介、職場見学とOB・OGによる懇談会があった。フランクで働きやすそうなオフィス環境に加え、年齢の近い先輩社員の皆様との懇談を通じて、学生たちもリラックスした雰囲気の中でお話を伺うことができた。

学生たちにとっては、実際の働く場所を見学したことで、日頃の学習の大切さを改めて見直す機会となった。

○呉高専主催のアジアDAY

7月11日（土）に、呉高専主催のアジアDAYに参加した。

アジアDAYは毎年呉高専で行われ、中国地区高専の留学生が集まり、日本人学生と交流するものである。今年は、津山高専から留学生9名、日本人学生2名、教員2名が参加し、留学生の発表、ブースに分かれての各国のゲーム紹介（タイ、カンボジア、ミャンマー、日本）、グループワーク等を行った。

短い時間ではあったが、他高専の留学生や日本人学生と交流する貴重な機会となった。

○令和8年度中国地区高等専門学校執行長会議

7月11日（土）・12日（日）の2日間にわたり、令和8年度中国地区高等専門学校執行長会議が広島商船高専を当番校に開催され、本校から学生会長及び弥生祭実行委員長の2名が参加し、学生会の活動などについて活発な議論を行った。

○English Cafe (7/13)

7月13日（月）に、美作大学の学生を迎えてEnglish Cafeを開催した。

English Cafeは、月1回、津山高専に在籍する留学生がチューターとして、日本人学生とともに英会話レッスンやTOEIC対策を行うものである。

今回は、留学生と日本人学生のペアワークをメインに、インドからの留学生によるやさしい英語での「インド紹介」、英語での七夕の短冊作りを行い、大盛況だった。

参加者は、津山高専留学生8名、津山高専日本人学生2名、美作大学日本人学生6名だった。

○知的財産セミナー（専攻科生を対象）

7月14日（火）に、日本弁理士会の支援により本校の専攻科生を対象にした知的財産セミナーを船曳特許事務所の船曳崇章先生と日本弁理士会の伴久仁彦先生をお招きして開催した。

講義では、船曳先生からの知的財産についての概要説明の後、学生同士がグループを組み、演習課題に対してさまざまな視点から「どのような発明が特許となるのか」について議論した。その後、根拠を示しながら論理的に考察し、発表を行った。

また、学生たちの専門分野に関連する内容であったため、学生たちは興味を持って講義に参加し、積極的に質問することで、知的財産に関する理解を深めることができた。

○After School English (7/17)

7月17日（金）に、第3回「After School English」を開催した。

今回は、岡山大学からタンザニア出身1名とガーナ出身2名の留学生合計3名が参加し、全体で21名が参加した。

2年生と3年生が司会を担当し、受付には1年生も加わって、学年を越えて協力をしながら準備を進めた。

イベントでは、「ito」という協力型ゲームを体験した。「ito」は各自に配られた数字を直接伝えることなくお題に沿った具体例で表現しながら、全員でそれぞれの数字の大きさを推測し、小さい順に並べるゲームである。

ゲーム中には留学生には理解が難しいお題が出題され、お題の変更を求める場面もあったが、その経験を通じて文化的背景の違いを意識し、相互理解を深める貴重な機会となった。

○ごうぎんSDGs私募債による寄贈品贈呈式

株式会社ゴフェルテック様及び株式会社山陰合同銀行様から、「ごうぎんSDGs 私募債（教育機関寄贈）」の取り組みに基づいて、本校学生の教育環境の向上のための学校用テントを寄贈していただき、7月22日（水）に津山高専において、贈呈式が実施された。

贈呈式では、株式会社ゴフェルテックの庄司代表取締役社長及び株式会社山陰合同銀行岡山支店の植田支店長から目録を賜り、佐藤校長より感謝状を贈呈した。

また、佐藤校長からは、課外活動や本校の学園祭「弥生祭」における本部テント・出し物での活用をはじめ、夏季の熱中症対策にも有効に活用させていただくと感謝の言葉が述べられた。

○科学研究費

職 名	先進科学系 教授
氏 名	松田 修
研究種目	基盤研究（B） 23K25725
金 額	令和8年度配分額 4,810,000円
研究課題名	数理モデルを立て分析する能力を育成する数学教材と授業法及びカリキュラムの開発

職 名	先進科学系 准教授
氏 名	久保 敏弘
研究種目	基盤研究（C） 23K03254
金 額	令和8年度配分額 1,300,000円
研究課題名	量子ホールエッジ状態を用いたトポロジカル準粒子の測定と統計性

職 名	先進科学系 准教授
氏 名	守友 博紀
研究種目	基盤研究（C） 23K04698
金 額	令和8年度配分額 0円
研究課題名	生体組織の深部観察を実現する高効率三光子励起・赤外発光性ナノエマルシヨンの開発

職 名	海外展開促進 特命准教授
氏 名	山田 朱美
研究種目	基盤研究（C） 23K00623
金 額	令和8年度配分額 910,000円
研究課題名	理工系アカデミックジャパニーズに特有の理解困難な表現の抽出と体系化

職 名	機械システム系 教授
氏 名	佐伯 文浩
研究種目	基盤研究（C） 24K07333
金 額	令和8年度配分額 260,000円
研究課題名	光熱効果と界面間相互作用による液面ダイナミクスの解明

職 名	先進科学系 准教授
氏 名	島田 悠彦
研究種目	基盤研究（C） 24K06892
金 額	令和8年度配分額 520,000円
研究課題名	非平衡相転移ブートストラップの基礎

職 名	機械システム系 准教授
氏 名	西川 弘太郎
研 究 種 目	若手研究 24K17251
金 額	令和8年度配分額 1,170,000円
研究課題名	空気圧ソフトバルブによる随意制御型ブリードオフ回路を採用した柔軟把持義手の開発

職 名	電気電子システム系 准教授
氏 名	山口 裕美
研 究 種 目	基盤研究 (C) 25K03921
金 額	令和8年度配分額 1,040,000円
研究課題名	ヴィクトリア朝終焉期以降の『チャイルド・ハロルドの巡礼』読者とその意図的編集

職 名	先進科学系 准教授
氏 名	谷口 圭輔
研 究 種 目	基盤研究 (C) 25K04618
金 額	令和8年度配分額 1,170,000円
研究課題名	アウトサイズ粒子群における微細粒子の動態力学：砂礫洲による陸域物質移動の影響

職 名	機械システム系 助教
氏 名	近藤 雄大
研 究 種 目	基盤研究 (C) 25K06239
金 額	令和8年度配分額 1,300,000円
研究課題名	1960-70年代の日本における「保健」の実践に関する歴史的研究

職 名	電気電子システム系 嘱託教授
氏 名	中村 重之
研 究 種 目	基盤研究 (C) 25K07708
金 額	令和8年度配分額 1,430,000円
研究課題名	無毒で豊富な元素で構成される新規硫化物熱電素子の簡易で低コストな合成法の開発

職 名	情報システム系 教授
氏 名	曾利 仁
研 究 種 目	基盤研究 (C) 25K07811
金 額	令和8年度配分額 780,000円
研究課題名	AIとIoT技術を搭載した協調作業可能な水田除草ロボットの開発

職 名	電気電子システム系 教授
氏 名	西尾 公裕
研 究 種 目	基盤研究 (C) 26K06457
金 額	令和8年度配分額 2,860,000円
研究課題名	生物の視覚モデルを応用した中学生向け探究型STEAM教材の開発と教育的効果の実証

職 名	先進科学系 助教
氏 名	浅野 喜敬

研究種目 若手研究 26K16994
金 額 令和8年度配分額 1,040,000円
研究課題名 トライセクション理論に基づく4次元多様体のトーラス手術と微分構造の研究

職 名 技術部
氏 名 小林 るみ
研究種目 奨励研究 26H00164
金 額 令和8年度配分額 350,000円
研究課題名 ミジンコ×統計×Python——生きたデータで育てる統計解析スキルの教育システム

職 名 校長
氏 名 佐藤 貴哉
研究種目 基盤研究 (B) 23K22663
金 額 令和8年度配分額 0円
研究課題名 イオンブラシと微粒子の複合ハイブリッド構造を有する超低摩擦摺動システムの創製

職 名 電気電子システム系 教授
氏 名 角谷 英則
研究種目 基盤研究 (C) 24K04093
金 額 令和8年度配分額 520,000円
研究課題名 言語権保障からみた司法通訳制度の実証研究——対ベトナム語話者の捜査通訳を焦点に

職 名 先進科学系 准教授
氏 名 谷口 圭輔
研究種目 基盤研究 (C) 25K07932
金 額 令和8年度配分額 325,000円
研究課題名 出水時におけるセシウム137の沿岸海域への輸送・拡散プロセスに関する実証的研究

職 名 機械システム系 助教
氏 名 近藤 雄大
研究種目 基盤研究 (C) 25K14781
金 額 令和8年度配分額 390,000円
研究課題名 高等教育機関における「体育史」授業に関する実践的研究

職 名 高度情報専門人材育成事業 特命教授
氏 名 中川 貴司
研究種目 基盤研究 (B) 25K01090
金 額 令和8年度配分額 1,170,000円
研究課題名 6000万年間連続する地磁気強度変化の復元にに基づく固体地球進化解読

職 名 高度情報専門人材育成事業 特命教授
氏 名 中川 貴司
研究種目 基盤研究 (A) 26H02092
金 額 令和8年度配分額 650,000円
研究課題名 地球深部水循環の化学反応速度論的検証

職 名	先進科学系 教授
氏 名	松田 修
研 究 種 目	基盤研究 (B) 26K00550
金 額	令和8年度配分額 390,000円
研究課題名	応用文脈が駆動する大学数学のコース・デザインに関する研究
職 名	校長
氏 名	佐藤 貴哉
研 究 種 目	基盤研究 (B) 26K00862
金 額	令和8年度配分額 390,000円
研究課題名	イオンブラシと磁性微粒子を複合した能動制御可能な潤滑界面の創製
職 名	電気電子システム系 助教
氏 名	沼 千智
研 究 種 目	基盤研究 (B) 26K03067
金 額	令和8年度配分額 520,000円
研究課題名	高精度点群データから解明する森林の三次元・樹種構造と流域生物多様性との関係
職 名	先進科学系 准教授
氏 名	谷口 圭輔
研 究 種 目	基盤研究 (C) 26K04441
金 額	令和8年度配分額 390,000円
研究課題名	流域の地形学的安定状態の任意性と内部接続性の理解に向けた能動的応答モデル実験

○受託事業

事業題目	次世代科学技術チャレンジプログラム
事業委託者	国立研究開発法人科学技術振興機構
事業担当者	情報システム系 宮下 卓也
経 費	直接経費 9,545,455円 一般管理費 954,545円
事業期間	令和8年4月1日～令和9年3月31日

○受託研究

研究題目	回転して水田除草を行う外装突起形状を有する小型球体除草ロボットの開発
本校担当者	情報システム系 曾利 仁
経 費	直接経費 910,000円 間接経費 90,000円
研究期間	令和8年4月17日～令和9年2月28日

○共同研究

研究題目	温風発生機の省電力化に関する研究
本校担当者	電気電子システム系 八木 秀幸
経 費	直接経費 0円 間接経費 0円
研究期間	平成23年2月14日～令和10年2月28日

研究題目	競技用低燃費車両の開発
本校担当者	機械システム系 山口 大造
経 費	直接経費 0円 間接経費 0円
研究期間	令和6年4月1日～令和9年3月31日
研究題目	ミストCVD法によるリビング重合成膜技術の開発及び微細加工基板への局所選択成膜技術の開発
本校担当者	電気電子システム系 香取 重尊
経 費	直接経費 827,272円 間接経費 82,727円
研究期間	令和7年4月1日～令和9年3月31日
研究題目	センシング技術を搭載した自律走行可能な除草ロボットの開発
本校担当者	機械システム系 井上 浩行, 情報システム系 曾利 仁
経 費	直接経費 0円 間接経費 0円
研究期間	令和7年6月2日～令和9年3月31日
研究題目	サーモクロミック顔料（ロイコ色素）の耐久性向上
本校担当者	先進科学系 廣木 一 亮
経 費	直接経費 0円 間接経費 0円
研究期間	令和8年2月1日～令和9年3月31日
研究題目	磁性メソポーラス炭素およびその固体酸触媒に関する商品開発研究
本校担当者	機械システム系 山口 大造
経 費	直接経費 8,461,539円 間接経費 2,538,461円
研究期間	令和8年4月1日～令和13年3月31日
研究題目	有機ポリマー基板に対するSiO _x 薄膜の高速化・硬質化のためのホローカソードCVD装置の研究
本校担当者	機械システム系 半田 祥樹
経 費	直接経費 500,000円 間接経費 150,000円 研究指導料 210,000円
研究期間	令和8年4月1日～令和9年3月31日
研究題目	ホローカソードCVDを用いた有機ポリマー基板に対するSiO _x 薄膜の高速化及び硬質化
本校担当者	機械システム系 近本 彬
経 費	直接経費 500,000円 間接経費 150,000円 研究指導料 210,000円
研究期間	令和8年4月1日～令和9年3月31日
研究題目	太陽光発電所の運転データの分析とそれを用いた故障検出手法の開発
本校担当者	電気電子システム系 桶 真一郎
経 費	直接経費 198,000円 間接経費 19,800円
研究期間	令和8年4月1日～令和9年3月12日
研究題目	車内無線電力給電によるLED点灯システムの開発
本校担当者	電気電子システム系 山本 綱之
経 費	直接経費 900,000円 間接経費 90,000円
研究期間	令和8年6月30日～令和9年3月31日

研究題目	さまざまな太陽電池を用いた太陽光発電システムの発電電力 プロファイル制御技術の開発
本校担当者	電気電子システム系 桶 真一郎
経 費	直接経費 600,000円 間接経費 0円
研究期間	令和8年7月8日～令和9年3月31日
研究題目	メタマテリアル技術を活用した電磁界分布制御によるマイクロ波分布 形状設計技術及びマイクロ波融雪の高効率化に関する研究開発
本校担当者	電気電子システム系 山本 綱之
経 費	直接経費 100,000円 間接経費 0円
研究期間	令和8年7月8日～令和9年3月31日
研究題目	金属及び樹脂材料に対する大気圧プラズマ処理による改質効果の検証
本校担当者	機械システム系 近本 彬
経 費	直接経費 346,000円 間接経費 103,800円
研究期間	令和8年7月21日～令和9年3月31日

○寄附金

寄 附 者	公益財団法人中国電力技術研究財団
寄附の目的	細谷和範教授の「椿の落花挙動にヒントを得たIoTセンシングデバイス開発」に 関する研究のため
寄附年月日	令和8年4月20日
寄 附 金 額	500,000円
寄 附 者	加藤 学
寄附の目的	教育・研究活動の助成
寄附年月日	令和8年7月31日
寄 附 金 額	52,800円
寄 附 者	北辰寮後援会長
寄附の目的	寮生の厚生福祉助成金（寺子屋）
寄附年月日	令和8年5月22日
寄 附 金 額	200,000円
寄 附 者	北辰寮後援会長
寄附の目的	寮生の厚生福祉助成金（その他）
寄附年月日	令和8年5月22日
寄 附 金 額	100,000円
寄 附 者	北辰寮後援会長
寄附の目的	寮生の厚生福祉助成金（寮母）
寄附年月日	令和8年5月22日
寄 附 金 額	1,500,000円
寄 附 者	公益財団法人高橋産業経済研究財団
寄附の目的	関一郎准教授の「環境配慮した金属チタン生産技術の確立」に対する研究助成
寄附年月日	令和8年6月8日
寄 附 金 額	2,000,000円

寄 附 者	日本植生株式会社
寄附の目的	教育・研究 補助のため
寄附年月日	令和 8 年 6 月 23 日
寄 附 金 額	150,000円
寄 附 者	公益財団法人ウエスコ学術振興財団
寄附の目的	柴田典人教授の「扁形動物を用いた再生を可能にする細胞ユニットの探索とその分子基盤の解明」の研究のため
寄附年月日	令和 8 年 7 月 10 日
寄 附 金 額	600,000円
寄 附 者	公益財団法人ウエスコ学術振興財団
寄附の目的	細谷和範教授の「脈拍異常を模擬可能なパルスオキシメーター用疑似腕デバイスの開発」の研究のため
寄附年月日	令和 8 年 7 月 10 日
寄 附 金 額	540,000円
寄 附 者	公益財団法人ウエスコ学術振興財団
寄附の目的	関一郎准教授の「CO/C02と共存するH2/H20反応の不均衡性を利用した還元反応速度の高速化」の研究のため
寄附年月日	令和 8 年 7 月 10 日
寄 附 金 額	600,000円
寄 附 者	公益財団法人ウエスコ学術振興財団
寄附の目的	浅野喜敬助教の「国際研究集会Trisection Workshop 2026 への参加・発表及び研究打合せ」の海外渡航費助成のため
寄附年月日	令和 8 年 7 月 10 日
寄 附 金 額	200,000円
寄 附 者	公益財団法人ちゅうでん教育振興財団
寄附の目的	コーチング型英会話学習アプリの開発と教育実践
寄附年月日	令和 8 年 4 月 15 日
寄 附 金 額	400,000円
寄 附 者	八雲環境科学振興財団
寄附の目的	画像計測を用いた流水のある水路壁面変状検出の試み
寄附年月日	令和 8 年 7 月 16 日
寄 附 金 額	540,000円
寄 附 者	八雲環境科学振興財団
寄附の目的	熱流束制御を利用したアルミ合金中の結晶成長方位の制御とその応用—機械的性質の最適化
寄附年月日	令和 8 年 7 月 16 日
寄 附 金 額	700,000円

○補助金

交付元機関	津山市
補助の目的	学生の起業に向けた資質・能力の育成に係る事業の継続のため
交付年月日	令和 8 年 5 月 19 日
交 付 金 額	300,000円

交付元機関	津山市
補助の目的	津山高専文化局（ロボ技術研究部）支援事業
交付年月日	令和８年７月７日
交 付 金 額	100,000円
交付元機関	津山市
補助の目的	津山高専文化局（写真同好会）支援事業
交付年月日	令和８年７月７日
交 付 金 額	100,000円
交付元機関	津山市
補助の目的	物質循環を担う脂質分解微生物の探索と地域環境人材の育成
交付年月日	令和８年７月７日
交 付 金 額	500,000円
交付元機関	津山市
補助の目的	力触覚伝送技術を用いたものづくり熟練技能の記録・再現による技能継承支援 の検討
交付年月日	令和８年７月７日
交 付 金 額	400,000円
交付元機関	津山市
補助の目的	津山高専における地域連携の促進 — 一小中学生の理系人材発掘を目的とした出前授業・公開講座の強化 —
交付年月日	令和８年７月７日
交 付 金 額	400,000円

発 行 津山工業高等専門学校
 発行年月日 令和８年９月１４日